

死者500人超す

数千人の恐れ M6.8余震発生

【パダン共同】淵野はこれまでに震源地に近い西スマトラ州パダン市内と周辺地域で364人が死亡、2177人が重軽傷を負ったとしており、死者数に關する情報は錯綜して

いる。スマトラ島メダンの日本総領事館による

新【9月30日発生したインドネシア・スマトラ島沖を震源とするマケニチュード(M7.6の地震で、同国

総領事館は同日午前、地震発生当時、西スマトラ州にいた日本人18人全員の無事を確認したとしていたが、3人についてはその後、日本

を明らかにした。ロイター通信によると、同国保健省当局者は、死者が数千人に上る恐れ

本親族から問い合わせがあった。また、米地質調査所(USGS)によると、

があるとの見方を示した。(11面に関連記事)

スマトラ島南部で1日午前、M6.8の余震とみられる地震があった。

一方、政府災害当局

倒壊したビルや家屋は少なくとも500棟とみられる。市内の二つのホテルや病院、学校も倒壊しており、多数が生き埋めになって救助を待っているとも

在、連絡が取れず、所

インドネシア政府は1日、援助物資の空輸など緊急支援を本格化、被害の全体状況の把握を急いでいる。DPA通信によると政府

は、同日午前、C130

輸送機2機で医師のほか、医薬品、食料、テントなどの救援物資を

パダンに搬送した。

しかし、地震の影響により電気や水道が停

止し電話回線もほぼ不通のため、政府は被害の全体像を確認できていない。

ユドヨノ大統領は1日午後、パダン入りし、ホテルと学校の倒壊現場を視察。被災者を励ますとともに救助作業を急ぐよう指示した。

被災者支援

医師ら派遣

AMD A

スマトラ島沖を震源とする地震の被災者支援のため、国際医療ボランティアAMD A(本部・岡山市)は1日、医師と調整員の計2人を派遣した。

AMD A多国籍医師団上級顧問の津曲兼司医師(52)と作業療法士の光島宏美調整員(31)。現地でインドネシア支部の医師、看護師らと合流。2日から医療拠点の整備、情報収集などに努める。

津曲医師は「迅速な外科的処置とともに、一刻も早い医療システ

ムの構築を図りたい」と話した。AMD Aは状況に応じて追加派遣を検討する。(伊丹友香)



1日、インドネシア・スマトラ島のパダンで、地震のため倒壊した建物から犠牲者を運ぶ兵士ら(ロイター=共同)